神戸新聞 2018年08月20日 月曜日 面名 ター タ5 1ページ

# 北太平洋海域に8万トン
# プラごみ3割 日本から漂流

北太平洋の米カリフォルニア州沖からハワイ沖に、海を漂うプラスチックごみが集まる「太平洋ごみベルト」と呼ばれる海域があり、ごみの総重量が約7万9千トンに達するとの推計をオランダなどの研究グループが20日までにまとめた。細かく砕かれた微粒子「マイクロプラスチック」を中心に1兆8千億個が漂うと試算している。生態系への影響が懸念され、削減のための国際的な協力体制の構築が課題となる。

ごみベルトの面積は160万平方キロで日本の面積の4倍超。表示などから製造場所が分かった386個のうち、日本のものが115個（約30％）と最も多かった。海流で運ばれたとみられ、2011年の東日本大震災の津波の影響も考えられる。2番目に多いのは中国の113個だった。

今回の重量は、14年に別の手法で試算した量の16倍だった。調査したオランダのオーシャン・クリーンアップ基金やデンマーク・オールボー大などのグループは「プラスチックごみの海洋汚染が進んでいる可能性が高い」と対策強化を訴えた。

マイクロプラスチックは海を漂ううちに壊れてできる直径5ミリ以下の微粒子。魚の体内に入り込むなどして生物や生態系へ悪影響を与えると懸念されている。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 「太平洋ごみベルト」と呼ばれる海域は、どのあたりでしょうか。

（　　）

② 「太平洋ごみベルト」のごみの総重量はどれくらいだと推計していますか。

（　　）

③ 「太平洋ごみベルト」の面積を書きましょう。

（　　）

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学校高学年～高校